

## 沖縄らしい優しい社会とは（1つの叩き台）

大城郁寛

### 1.自然（環境）に優しい

- ①沖縄の美しい自然環境の保全（生活排水・養豚場からの汚水、赤土流出、基地の水質汚濁への対応）
- ②沖縄らしい植栽・景観の造成
- ③台風に強い沖縄の構築（電線類地中化の推進など、）

### 2.離島・過疎地域に優しい

- ①医療サービスの拡充
  - ・宮古、八重山圏域で地域がん診療連携拠点病院を整備（高齢化で癌はもはや国民病）
  - ・医療サービスの改善（無医・無歯科医地区の解消、専門医による巡回診療の拡充、遠隔医療の提供、本島で診療を受ける際の交通費・滞在費の補助、）
- ②離島における物価高の改善
  - ・離島の高物価の改善（平成28年度離島食品・日用品輸送費等補助事業報告書によれば、離島は本島より物価が23%ポイント高）
  - ・生活航路確保（欠航が多いような感じがする）および不可欠な消費者物資の備蓄
- ③離島・過疎地域における行政サービスの確保（行政サービスの広域化）

### 3.住民に優しい

- ①子供にやさしい
  - ・子供の貧困への対応
  - ・児童虐待への対応
- ②高齢者に優しい
  - ・公共交通（コミュニティ・バス等）の拡充（買い物や病院への移動の確保）
  - ・元気な高齢者への就労支援（無年金・低年金者への対応）
  - ・消費者被害の防止
- ③就労者への支援
  - ・ワーキング・プアに対する支援（例えば、民間空家を活用した低家賃住宅の提供はできないか）

### 4.観光客に優しい

- ①台風等で飛行機が欠航となった観光客への対応（航空機遅延費用保険の活用はできないか）
- ②外国人観光客の事故・病気に対する対応（言葉、治療費への対応）